

■テーマ“Talk about customs & manners” マナーや習慣についてわかりやすく伝えよう！

■交流の様子



■交流内容

New Horizon2 Unit4 Homestay in the United States では、日米の生活習慣や文化の違いを知り、共に暮らすヒントを考えました。そこで、ユニットのまとめとして、ALT やシェパトン校の生徒に伝えたい日本の生活習慣やマナーを考え伝える活動を行いました。言語材料は、このユニットで学習した”have to “（～する必要がある）、“don't have to “（～する必要がある）、“must”（～しなければならない）、“must not”（～してはいけない）などの助動詞を使用条件としました。生徒たちは、モデル文等を参考に、伝えたい内容をマッピングした後、プレゼンテーションソフト等を使ってわかりやすく伝えました。いかにしてわかりやすく伝えるか、コミュニケーションをうまく図ることができるかを考えて交流しました。伝え合う際に、写真や絵を使う、ジェスチャーや表情、話すスピード、発音やイントネーションに気をつけることなどを意識して話すことを目標にしました。シェパトン校の生徒は、静かに説明を聞いてくれました。

■紹介したこと “Kimono”（着物やゆかた） “Oshogatsu”（お正月行事やおせち）

“At meals”（食事のマナー） “Bathroom”（お風呂やトイレ） “School rules”（校則）

“Cleaning at school”（学校での清掃活動） “Time”（時間の観念）

■生徒の感想

○外国の学生に私の言いたいことが伝わったか、正直不安でしたが、拍手をもらえたので少しは伝わったのかなと思いました。発音や文法を意識して発表することができました。また、相手の反応を見ることがとても大切だということがわかりました。相手の反応を見ながら話を進めていくことで、話の展開が変わってくるのかなと思いました。

○交流ではタイムラグがあるので、ゆっくり話し、相手が返事して聞きとれたかどうか少し間をおいて話しました。これからはもっとジェスチャーをつけて文を理解して覚えるということをしてみたいです。相手と会話をする時はコミュニケーションをとらないと伝わらないし、自分の思いをしっかり伝えるには表現力も必要になると思います。普段からコミュニケーションをとって表現を工夫して会話をしたいです。

○コミュニケーションをしっかりととりながら、自分の伝えたいことをイントネーションにも気を付けて伝えることができました。